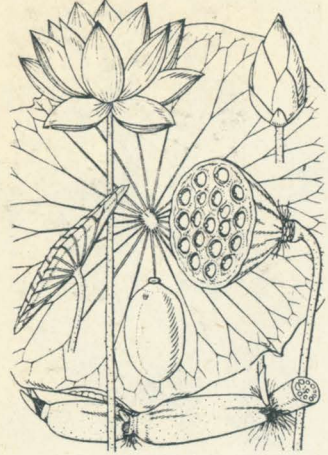


第 1738 圖

ひつじぐさ科



はす (蓮)

古名 はちす
Nelumbo nucifera Gaertn.

(= Nelumbium speciosum Willd.)

極メテ舊ク支那ヨリ我邦ニ渡來シ今ハ廣ク各地ノ池沼或ハ水田ニ栽植セララルル多年生ノ水草ニシテ蓋シ元來ハ印度ノ原産ナラン。根莖ハ多節ニシテ白色ヲ呈シ長ク水底ノ泥中ヲ横走シテ疎ニ分枝シ狭長ナル圓柱形ヲ呈シ秋末ニ至レバ其末部頗ル肥厚シ所謂蓮根ト成ル。葉ハ根莖ヨリ出テ直立セル長葉柄ヲ有シテ水上ニ挺出シ、扁圓形ニシテ楕形ヲ成シ、兩側稍凹ミテ上方ニ微凸頭ヲ有シ、上面凹窪シ、直徑40cmニ出入シ、帶白綠色ニシテ洋紙質ヲ成シ葉脈ハ四方ニ射出ス。葉柄ハ綠色圓柱形ニシテ短尖刺ヲ散生シ縫蓋ス。夏日梗頂ニ紅色・淡紅色或ハ白色ノ大ナル一葉花ヲ開ク。萼ハ四五片、小形。花瓣ハ多數アリテ倒卵形ヲ呈シ縦脈多シ。雄蕊ハ多數ニシテ約黃色。果實ハ短倒圓錐形ニ膨大シテ海綿質ヲ成セル宿存花托ノ前面平坦部ノ窠孔中ニ熟シ橢圓形ニシテ果皮堅ク暗黑色ヲ呈シ中ニ肥厚セル白色子葉ト綠色ノ幼芽(苦蕒)トヲ含ム。普通ニ蓮根ヲ食用トシ又種子ヲモ食フ、蓮根ハ即チ蓮藕ナリ。和名ハはすハはちすノ略、はちすハ蜂巢即チ蜂窩ニシテ其果實ヲ容レタル花托ノ狀宛モ蜂ノ巢ノ如ケレバ云フ。

第 1739 圖

なでしこ科



さぼんさう

Saponaria officinalis L.

明治初年ニ渡來シ藥用植物トシテ栽培セララルル多年生草本ニシテ歐洲ノ原産ナリ。高サ30-90cmアリ。根莖ハ横行シ白色肥厚ニシテ匍枝ヲ發出ス。莖ハ直立或ハ傾上ス。葉ハ對生シ、長橢圓狀披針形ニシテ兩端狹窄シ葉頭ハ稍銳形、三條ノ主脈ヲ具ヘ、長サ5-10cm許。夏日梢上枝端ニ密ナル聚繖花序ヲ成シテ淡紅花或ハ白花ヲ集着シ、花梗ハ甚ダ短シ。萼ハ綠色ニシテ眞直ナル圓筒形ヲ成シ長サ2cm内外アリテ先端五裂ス。花ハ平開シ其徑凡2.5cm許アリ。花瓣ハ五片アリ、倒卵形ニシテ凹頭ヲ有シ基部ハ長キ花爪ト成リテ其頂ニ線形ノ二小片ヲ着ク。雄蕊ハ十本。花柱ハ二箇。蒴果ハ卵形ニシテ強壯ナル果梗ヲ有シ紡錘狀ヲ成セル宿存萼ニ包マレ頂部四片ニ開裂ス。和名ハさぼんにんヲ多ク含ミタル本植物ノ特質ニ基ク。

第 1740 圖

なでしこ科



だうくわんさう (麥藍菜)

Vaccaria pyramidata Medik.
(= V. vulgaris Host.;
Saponaria Vaccaria L.)

徳川時代ニ渡來セル越年生或ハ一年生草本ニシテ元來歐洲ノ原産ナリ。直立セル莖ハ高サ50cm内外ニシテ其上部疎ニ分枝ス。葉ハ對生シ、卵狀披針形乃至披針形ニシテ銳尖頭、底部ハ無柄ニシテ莖ヲ抱キ、粉綠色ヲ呈ス。晩春枝端ニ疎ナル聚繖花序ヲ成シテ淡紅花ノ花ヲ開ク。花梗ハ纖長ニシテ花下ニ小苞ナク、萼筒ハ卵狀圓筒形ニシテ五稜アリ、長サ15mm許、花後下部球狀ニ膨ラミ、萼裂片ハ短小ニシテ邊緣膜質ナリ。花瓣ハ倒卵形ニシテ先端ニ不齊ノ小齒牙ヲ有シ、花喉ニ小鱗片ナシ。十雄蕊。二花柱。蒴果ハ五翼稜アル膨腫宿存萼ニ包マレ褐色ノ細種子ヲ容ル。和名ハ道灌草ノ意ナリ、往昔武州ノ道灌山ニ藥園アリシ時此草ノ漢種ヲ栽エシ事アリシガ故此名アリト謂ハル、而シテ北支那ニハ普通ニ之レヲ見ルト云フ。漢名 王不留行(誤用)

こごめなでしこ

Gypsophila paniculata L.

觀賞花草トシテ庭園ニ栽培セララルル多年生草本ニシテ原ト歐洲及ビ北亞細亞ノ原産ナリ。莖ハ直立シ60cm許ニ達シテ綠色ヲ呈シ、繁ク枝ヲ分チ四方ニ擴ガル。葉ハ對生シ披針形或ハ線狀披針形ニシテ銳尖頭、概ネ三條ノ主脈ヲ有シ、長サ7cm許。根生葉ニ在テハ長サ往々15cm内外アリ。夏秋ノ候、枝上ニ多數ノ小白花ヲ滿開ス。萼ハ短鐘形ニシテ長サ2mm許、五裂シ、裂片ハ廣卵形鈍頭ニシテ邊緣膜質ナリ。花瓣ハ五片、長橢圓形ニシテ全邊、花喉ニ小鱗片ナシ。十雄蕊。二花柱。蒴果球形。和名小米撫子ハ其小白花ノ狀ヨリ名ク。

第 1741 圖

なでしこ科



なでしこ

一名 かはらなでしこ・やまとなでしこ
古名 とこなづ

Dianthus superbus L.

多年生草本ニシテ普ク山野ニ自生ス。莖ハ數本叢生シテ直立シ綠色ヲ呈シテ隆起セル節アリ高サ通常50cm内外アレドモ稀ニ1.7m餘ニ達スルコトアリ。葉ハ對生シ、線形或ハ線狀披針形ニシテ兩端尖リ基部ハ對葉短ク聯合シテ莖節ヲ擁セリ、全邊ニシテ綠色或ハ粉綠色、長サ3-9cm許。夏秋ノ候梢上疎ニ枝ヲ分チ、優美淡雅ナル淡紅色ノ花ヲ開ク、稀ニ白色ノ者アリ。萼ハ細長ナル圓筒形ヲ成シ長サ2-3cm許、先端五裂シ裂片ハ披針形ナリ。萼筒基部ニ通常四-六片ノ短廣小苞ヲ有シテ萼筒ニ密接ス。花瓣ハ五片ニシテ長花爪ヲ具ヘ、舷部ノ邊緣深ク絲狀ニ裂裂シ、基部ニ鬚毛アリ。十雄蕊。二花柱。蒴果圓柱形ニシテ先端四裂シ宿存セル萼筒ノ中ニ在リ。邦俗古ヘヨリ所謂秋ノ七種ノ一ニ算ヘラル。和名撫子ハ其可憐ナル花容ニ基キ、河原撫子ハ此品能ク河原地ニ生ズルニ由リ、又大和撫子ハ姉妹品ノ唐(から)撫子ニ對シテ云ヘリ。漢名 瞿麥(誤用)

第 1742 圖

なでしこ科



たかねなでしこ

Dianthus superbus L.
var. monticola Makino.

(= ? D. superbus L. var.
speciosus Reichb.)

本州中部以北ノ高山帶石礫地ニ見ル多年生草本。莖ハ立ち高サ20cm内外、多少叢生ス。かはらなでしこノ一變種ニシテ葉狀相似タル者アレドモ、莖低ク花ハ一輪、大形ニシテ徑4cm餘ニ達シ、萼下ノ苞ハ四片アリ狭長ニシテ尖リ其長サ時ニ萼筒ヲ超ユ。花瓣ハ濃紅色ヲ呈シテ美シク、瓣部ノ基脚ニハ紫褐色ノ鬚毛密生スルコト顯著ニシテ一見蛇ノ目狀ヲ呈シ、又瓣片ノ周縁ハ著シク細ク剪裂スルヲ見ル、可憐眞ニ愛スベシ。本品ニ似テ信州白馬岳連峰ニ産スル者ニクもゐるなでしこ一名しもふりなでしこ(D. superbus L. var. amoenus Nakai)アリ、全株白霜ヲ帯ビ、花下ノ苞片唯二箇ナルノ特徴アリ、亦愛スベキノ佳品ナリ。和名ハ高嶺撫子ノ意ニシテ高山ニ生ズル故云ヒ、又雲居撫子モ同ジク能ク雲ノ宿スル高峰ニ生ズルヨリ斯ク呼ビ又霜降撫子ハ其帶白色ノ草狀ニ基キテ稱ナリ。

第 1743 圖

なでしこ科

